

マカフィー株式会社
2019年7月8日

※当資料は、米国時間 2019 年 6 月 25 日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳です。

McAfee MVISION Cloud はコンプライアンスを向上させ、リスクを低減する機能で AMAZON WEB SERVICES 利用者の「シフトレフト」をサポート

AWS CloudFormation のバリデータを伴う DevOps プロセスにセキュリティを統合

デバイスからクラウドまでを保護するサイバーセキュリティ企業である米国マカフィー (McAfee LLC、本社：米国カリフォルニア州) は、「McAfee MVISION Cloud for Amazon Web Service (AWS)」の機能強化を発表しました。クラウドインフラストラクチャ内のコンプライアンスを向上し、リスクを低減する機能によって利用者の「シフトレフト」をサポートします。McAfee MVISION Cloud を利用することで、セキュリティがより早い段階で DevOps プロセスに組み込まれるため、セキュリティ担当者は本番環境で脅威に晒される前に、危険な設定を把握できます。これにより、企業はより迅速かつ効率的に、クラウドにアプリケーションを展開することが可能になります。

IaaS (Infrastructure-as-a-Service) と PaaS (Platform-as-a-Service) 環境は、利用者にクラウドインフラストラクチャを自在に制御する機会を提供する一方、企業がセキュリティリスクに晒される機会を増大させることにもなります。McAfee MVISION Cloud for AWS の新機能によって、セキュリティチームは DevOps プロセスおよびツールセットをネイティブに統合し、システムが展開される前にセキュリティの課題を発見し、クラウドでのビジネスの加速を可能にします。新機能は次のとおりです。

- **AWS CloudFormation テンプレート向けセキュリティスキャン**：リソースの展開前に、AWS CloudFormation テンプレートの危険な設定や違反を発見できます。
- **ソースでのセキュリティ問題の解決**：セキュリティまたは設定ミスにかかわる問題の根本的な原因を発見し、システムが稼働した際の問題の伝播を防ぐことで、その後の対処に係る工数を削減します。
- **予防的なリスク回避**：規制への準拠を徹底し、不適切なセキュリティ制御に伴うデータの損失、悪用または罰金の可能性を低減します。

マカフィーの「[Cloud Adoption and Risk Report](#) (クラウドの採用とリスクに関するレポート)」によると、企業では設定ミスの IaaS / PaaS インスタンスが平均で 14 件実行されているため、毎月 2,269 件を超える設定ミスが発生していることとなります。ほとんどの IaaS および PaaS のコンフィギュレーション監査ツールは、すでに稼働しているリソースのリスクを評価することに重点を置いています。スキャンシステムが稼働状態になると、検出して修復するまで、設定ミスによるなんらかのリスクに晒される可能性があります。その後も、疑わしいテンプレートを使用し、より多くのシステムをセットアップすると、これらの問題が繰り返し発生し、多数の稼働中のシステムでリスクを水面下で拡散させる結果となります。そしてその後、企業内の多くの開発チームでこの問題がさらに繰り返されます。

米国マカフィーのクラウドセキュリティ事業部門 上席バイスプレジデントであるラジブ・グプタ (Rajiv Gupta) は、次のように述べています。「DevOps プロセスに統合されたセキュリティ

対策の一環として、テンプレートレベルで問題を解決することで、未解決の設定ミスでシステムが稼働するリスクを排除し、ソースでの修復をただちに実行することでインフラチームの作業負担を軽減し、セキュリティチームには単一箇所からセキュリティポリシーの適用と評価する機能を付与することが可能になります。McAfee MVISION Cloud を使用すると、セキュリティ担当者はクラウドリソースをより正確に把握して制御し、開発ライフサイクルの早い段階で脅威を検出して対応することが可能になります。」

Pacific Dental Services のシニア IT セキュリティアナリストのマカ・ゲレロ氏 (Maka Guerrero) は、次のように述べています。「マカフィーの市場をリードする CASB は、包括的で一貫したポリシーを通じて、脅威、コンプライアンスの状況、コンフィギュレーション管理、動向、機密データ保護に対する可視性と対応への統一のアプローチを提供することで、AWS の既存のセキュリティ機能を強化しています。新しい『シフトレフト』をサポートする機能により、わたしたちは、セキュリティ課題を予防的に分類し、優先付けし、解決できるため、コンプライアンスを向上させ、クラウド内のリスクを低減できます。」

Amazon Web Services, Inc. のグローバルエコシステム・リードセキュリティであるロイット・グプタ氏 (Rohit Gupta) は、次のように述べています。「企業が安全にクラウドでインフラを運用できるようにマカフィーのサポートが進んでいることを、大変うれしく思います。McAfee MVISION Cloud は、事後にインシデントに対応するのではなく、AWS 上のワークロードに対してセキュリティを強化すべく、DevOps チームがセキュリティの実装に注力することをサポートします。」

McAfee MVISION Cloud for AWS は、IaaS、PaaS および SaaS (Software-as-a-Service) 環境にわたって一貫して機能する包括的なクラウドセキュリティソリューションです。AWS インフラストラクチャのアプリケーションプログラミングインターフェイス (API) を通じて迅速かつシームレスに統合し、IaaS / PaaS インフラストラクチャからカスタムアプリケーションに至るまで幅広くセキュリティ制御を強化し、企業がセキュリティ、コンプライアンスおよびガバナンスの要件に対応することをサポートします。

McAfee MVISION Cloud for AWS の「シフトレフト」を実現するこの新たな機能は、現在利用可能です。

参考情報：

- [McAfee MVISION Cloud](#)
- [Cloud and Risk Adoption Report](#)
- [動画配信「Cloud Security: New Risks, New Rules」](#) (英語)

マカフィーについて

マカフィーはデバイスからクラウドまでを保護するサイバーセキュリティ企業です。業界、製品、組織、そして個人の垣根を越えて共に力を合わせることで実現するより安全な世界を目指し、マカフィーは企業、そして個人向けのセキュリティ ソリューションを提供しています。詳細は <https://www.mcafee.com/ja-jp/> をご覧ください。

* McAfee、マカフィー、McAfee のロゴは、米国およびその他の国における McAfee, LLC の商標又は登録商標です。

* その他の会社名、製品名やブランドは、該当各社の商標又は登録商標です。

<本情報のお問い合わせ>

マカフィー株式会社 (<https://www.mcafee.com/ja-jp/>)

広報担当 戸田

東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティウエスト 20 階

Tel: 03-5428-1226 Fax: 03-5428-1480

hiromi_toda@mcafee.com